政治改革に関する意識調査

このアンケートは、政治に期待することや、国会や政治家のあり方に関する改革について、みなさんの意見を明らかにすることを目的としています。

調査は一般社団法人社会調査支援機構チキラボが企画し、実施します。調査をまとめたものは、論文、書籍、報道、政治家などへの要望の場面にて活用する予定です。また、「社会調査支援機構チキラボ」のウェブサイトでも公開されます。

この調査では、個人の特定に繋がるような情報は取得されません。公表する結果をもとに第三者が個人を推測できないよう統計的な処理も行います。それぞれの質問で、回答をしたくない場合には「回答しない」という選択肢を選んでいただくことも可能です。内容が難しく、よくわからない場合にも「わからない」という選択肢を選ぶことができます。

回答所要時間は、およそ20分です。本調査への参加は自由意思に基づくものです。一度調査への参加に同意し、回答を始めたあとでも、最後に回答を送信するまでの任意の段階で、回答を中止することができます。その場合でも何ら不利益が生じることはありません。

以上の内容を理解し、調査へご協力いただける方は「同意する」をチェックし、回答へとお進みください。※同意しない方は、このまま画面を閉じて終了してください。ありがとうございました。

問1. 国会で優先してほしいテーマ

以下のテーマのうち、あなたが国会において特に優先的に取り組んでほしいと思うテーマはどれですか。特に優先して取り組んでほしいものを**5**つまで選択してください。（複数選択可）

1. 物価高への対策
2. 経済成長・産業の振興
3. 税金・財政・金融
4. 年金・医療・介護
5. 子育て・教育
6. 雇用・賃金・働き方
7. 格差・貧困への対策
8. 外交・防衛・安全保障
9. 憲法のあり方
10. 政治とカネ
11. 国会議員の定数や選挙制度
12. 外国人の受け入れ・在留管理・共生
13. 人権の保護・差別の解消
14. 司法制度の見直し・犯罪被害者の支援
15. 国内の治安・犯罪対策

16. 環境・エネルギー・食料の安定供給
17. 災害への備え・復旧復興
18. サイバーセキュリティの強化
19. その他
20. 特にない
21. わからない
22. 回答しない

問2. 政治改革優先度

政治改革についてうかがいます。以下の項目について、あなたは、国会でどの程度優先して議論してほしいと思いますか。それぞれ、もっとも近いものを1つ選んでください。 制度を変えることへの賛否ではなく、優先して議論してほしい程度をお答えください。項目の意味がよくわからない場合は「内容がよくわからない」を選んでください。

【質問項目】

1. 公文書の保存・公開や、改ざん・不適切な廃棄を防ぐルール
2. 政治資金収支報告書への不記載・虚偽記載・裏金を防ぐ仕組みと、違反への対応
3. 政治家・政党と旧統一教会とのこれまでと今後の関係
4. 選挙での買収を防ぐ仕組みや、違反への対応
5. 政党助成金の存廃や、使い道、公開のあり方
6. 官房機密費の使途を記録、公開するための仕組みづくり
7. 政党から政治家に渡すお金の使い道の公開
8. 政党支部、政治団体、後援会の乱立の規制
9. 献金を受けられる支部を各都道府県一つに限定するなどの規制
10. 企業・団体による政治献金のさらなる規制
11. 政党・政治家のSNS利用・SNS広告に関わるルール
12. 選挙に関連するSNS投稿と収益化の規制
13. 首相が衆議院を解散できる権限とその行使の規制
14. 政治家による、行政や予算編成への不当な働きかけを防ぐ仕組み
15. 政治家と官僚の接触記録の徹底
16. 国会議員の定数削減
17. 国会議員の報酬削減
18. 一票の格差の是正
19. 首相の国会出席の頻度や、出席を求めるルール

【選択肢】（各項目につき1つ選択）

- 優先してほしい
- 少し優先してほしい
- どちらともいえない
- あまり優先しなくてもよい

- 優先しなくてもよい
- 内容がよくわからない
- 回答しない

問3. 政治改革効果認識

次の項目について国会で議論が進んだ場合、政治や政治家に対する信頼の回復・信頼づくりに効果的だと思うものはどれですか。すべて選択してください。効果を決められない場合や項目の意味がよくわからない場合は「よくわからない」を選んでください。（複数選択可）

1. 公文書の保存・公開や、改ざん・不適切な廃棄を防ぐルール
2. 政治資金収支報告書への不記載・虚偽記載・裏金を防ぐ仕組みと、違反への対応
3. 政治家・政党と旧統一教会とのこれまでと今後の関係
4. 選挙での買収を防ぐ仕組みや、違反への対応
5. 政党助成金の存廃や、使い道、公開のあり方
6. 官房機密費の使途を記録、公開するための仕組みづくり
7. 政党から政治家に渡すお金の使い道の公開
8. 政党支部、政治団体、後援会の乱立の規制
9. 献金を受けられる支部を各都道府県一つに限定するなどの規制
10. 企業・団体による政治献金のさらなる規制
11. 政党・政治家のSNS利用・SNS広告に関わるルール
12. 選挙に関連するSNS投稿と収益化の規制
13. 首相が衆議院を解散できる権限とその行使の規制
14. 政治家による、行政や予算編成への不当な働きかけを防ぐ仕組み
15. 政治家と官僚の接触記録の徹底
16. 国会議員の定数削減
17. 国会議員の報酬削減
18. 一票の格差の是正
19. 首相の国会出席の頻度や、出席を求めるルール
20. いずれの議論も、信頼回復や信頼づくりには役立たない
21. よくわからない
22. 回答しない

問4. 衆議院比例の議員定数削減への賛否

衆議院の比例区の定数を31議席減らす案についてお聞きします。あなたはこの改革に賛成ですか、反対ですか。この案についてよく知らない場合は「内容がよくわからない」を選んでください。

1. 賛成
2. やや賛成
3. どちらともいえない

4. やや反対
5. 反対
6. 内容がよくわからない
7. 回答しない

(※問*4*で「賛成」「やや賛成」と回答した方にお聞きします)

問5. 衆議院比例の議員定数削減優先度

衆議院の比例区の定数を31議席減らす案について、「賛成」「やや賛成」と回答した方にお聞きします。あなたはこの改革はどのように実行すべきだと思いますか。次の意見に対し、あなたの考えにもっとも近いものを1つ選択してください。項目の意味がよくわからない場合は「内容がよくわからない」を選んでください。

【質問項目】

1. 他の議論よりも優先して今国会で実行すべき
2. 今国会では急ぐべきではないが、いずれは実行すべき
3. 野党も含めた国会全体で合意形成を経てから実行すべき
4. 専門家を含めた削減の根拠や効果検証が行われてから実行すべき
5. 賛否を問われたので賛成はしたものの、そこまで思い入れはない

【選択肢】(各項目につき1つ選択)

- とてもそう思う
- まあそう思う
- どちらともいえない
- あまりそう思わない
- まったくそう思わない
- 内容がよくわからない
- 回答しない

(※全員にお聞きします)

問6. 衆議院比例の議員定数削減に対する期待

衆議院の比例区の定数を31議席減らす案についてさらにお聞きします。議席の削減が行われた場合や行われようとしていることに対する次の意見について、あなたはどの程度そう思いますか。それぞれ、もっとも近いものを1つ選んでください。 項目の意味がよくわからない場合は「内容がよくわからない」を選んでください。

【質問項目】

1. 政治家への信頼が高まる
2. 国会にかかる経費を減らせる
3. 国会の審議を効率よく進められる
4. 十分に活動していない議員が減る
5. 少数政党が議席を得にくくなる
6. 国民の少数意見が国会に届きにくくなる
7. 実際の効果より、特定の政党が改革をアピールする意味合いが強いと思う
8. 議員一人ひとりの仕事の負担が増える
9. 議員数削減で得られるメリットより、デメリットの方が大きい
10. 法案に賛成した政党に対する評価が下がる
11. 法案に反対した政党に対する評価が下がる
12. 自分の負担が増える改革を、今後、政治家から提案されても、自分自身は納得しやすくなる

【選択肢】（各項目につき1つ選択）

- とてもそう思う
- まあそう思う
- どちらともいえない
- あまりそう思わない
- まったくそう思わない
- 内容がよくわからない
- 回答しない

(※問*4*で「反対」「やや反対」と回答した方にお聞きします)

問7. 衆議院比例の議員定数増加

衆議院の比例区の定数を31議席減らす案について、「反対」「やや反対」と回答した方にお聞きします。議席数はどうあるべきだと思いますか。あなたの考えにもっとも近いものを1つ選んでください。

1. 今より増やすべきだ
2. 現状のままで良い
3. どちらともいえない
4. 回答しない

(※全員にお聞きします)

問8. 支持政党

選挙で投票する、しないは別にして、あなたは国の政治において、ふだんどの政党あるいは政治団体を支持していますか。最も支持する政党・政治団体を1つ選んでください。

1. 自民党
2. 日本維新の会
3. 国民民主党
4. 公明党
5. 立憲民主党
6. 参政党
7. 民主改革の会
8. チームみらい
9. 共産党
10. いのちの党
11. 社民党
12. 保守党
13. 中道改革連合
14. その他の政治団体
15. 支持する政党・政治団体はない
16. 回答しない

問9. 2026年2月衆院選投票先

あなたは2026年2月の衆院選・比例代表でどの政党・政治団体に投票しましたか。投票した政党・政治団体を1つ選んでください。

1. 自民党
2. 中道改革連合
3. 日本維新の会
4. 国民民主党
5. れいわ新選組
6. 日本共産党
7. 参政党
8. 日本保守党
9. 社民党
10. 減税日本・ゆうこく連合
11. チームみらい
12. その他の政党・政治団体・無所属
13. 投票にいったが投票先を忘れた
14. 投票に行かなかった
15. 投票に行ったかどうか忘れた

16. 回答しない

問10. 感情温度

政治や社会の話題でしばしば取り上げられる人物や事柄、国についてうかがいます。以下の人物や事柄、国に対する感情を温度にたとえてお答えください。もし好意も反感もない場合は 50 度としてください。好意的な気持ちがあれば、その強さに応じて 60 度から 100 度の数字を選択してください。逆に、反感を感じていれば、やはりその強さに応じて 0 度から 40 度までのどこかの数字を選択してください。もし、ご存知でない場合は「知らない」を、答えたくない場合は「回答しない」をチェックしてください。

【質問項目】

1. 高市早苗
2. 石破茂
3. 小泉進次郎
4. 玉木雄一郎
5. 吉村洋文
6. 藤田文武
7. 安野貴博
8. アメリカ
9. トランプ大統領
10. イーロン・マスク
11. DOGE
12. オバマ元大統領
13. イスラエル
14. ネタニヤフ首相
15. 中国
16. ロシア
17. ウクライナ
18. 韓国
19. 北朝鮮
20. フランス

【選択肢】（各項目につき1つ選択）

- 0度
- 10度
- 20度
- 30度
- 40度
- 50度
- 60度

- 70度
- 80度
- 90度
- 100度
- 知らない
- 回答しない

問11. 高市内閣支持度

あなたは今現在、高市内閣をどの程度支持していますか。

1. とても支持している
2. すこし支持している
3. どちらともいえない
4. あまり支持していない
5. まったく支持していない
6. 回答しない

問12. 政治知識

以下の国会に関わる意見について、あなたはどの程度、そう思いますか。それぞれ、もっとも近いものを1つ選んでください。項目の意味がよくわからない場合は「内容がよくわからない」を選んでください。

【質問項目】

1. 法律制定には必要性や合理性を裏付ける「立法事実」が求められるべきだ
2. 憲法は国民の自由と権利を守るために、国の権力を制限する役割があるべきだ
3. 国会議員は、時には憲法に反する判断をすることもやむを得ない
4. 国会議員は、国民の意見を国の政治に反映させるべきだ
5. 国会議員は、国民全体の声ではなく自分に投票した支持者の声を優先して聞くべきだ
6. 国会は、政府や行政の仕事を監視すべきだ
7. 国会が作る法律は、憲法に反するべきでない
8. 政府や与党に抗議する場合でも、野党は審議拒否や審議欠席をするべきではない
9. 野党は、政府や与党が政策を進める妨げになっている
10. 野党は、政府や与党の不正や問題点を明らかにすべきだ

【選択肢】（各項目につき1つ選択）

- とてもそう思う
- まあそう思う
- どちらともいえない

- あまりそう思わない
- まったくそう思わない
- 内容がよくわからない
- 回答しない